

KTC

タイヤの脱落事故を無くし、安全な社会を!

タイヤ着脱整備

応援キャンペーン

キャンペーン期間
2026.9/14(月)～12/25(金)

軽・普通車用セット

No.JTAE475CP
キャンペーン価格
¥98,400
(税込 ¥108,240)

軽・普通車用セット
(トルクレンチ付)

No.JTAE475DZ
キャンペーン価格
¥128,000
(税込 ¥140,800)

12.7sq.インパクトレンチ用
ホイールガードソケットセット

No.TBP4903GSPA
キャンペーン価格
¥6,850
(税込 ¥7,335)

大型車用セット

No.JTAE682CPA
キャンペーン価格
¥140,900
(税込 ¥154,990)

詳しくは
タイヤ着脱整備応援キャンペーン
特設サイトへ

KTC 京都機械工具株式会社 製品サイト ktc.jp

**モビトラック
MVE-200T**
バンザイは2026年
7月 バッテリー駆動式

バンザイ

大型車整備に役立つ各社の製品

の電動ロールプッシャー「モビトラック」を発売した。回転ローラーをタイヤに押し付けることで、エンジンがかからない場所などでの車両移動を容易に行うことができる。片手の操作で大型車を簡単に移動できるため、省力化に貢献する。

片手の操作で簡単に正確に大型車を移動

学に基づいた設計となっている ISO11228 に準拠しており、安全でスムーズな移動を実現

また、変速調整と正転・逆転機能を持ち、正確にコントロールできる。さらに、車体との接触を避けるオフセットハンドルは、ハンドルの向きを変えられ、操縦性能に優れている。本体高さは22.2cmとコンパクトながら、本体の大型車を押し出す力(推力)は25tある。ワンボックスカーや商用車、大型トラックなど幅広い種類の搬送に対応する。本体には、リチウムバ

バッテリーを搭載しており移動車両のエンジン始動が不要のため、排ガスの排出がなく、整備中の不慮な事故も安全に移動が可能。屋内での移動作業に適する。

ホイールアライメント測定作業時のローリング測定などにも活用できる。使用時間は約150時間(空転時)と長時間の使用が可能。充電は、ACアダプター(100V)でつなぐだけで完了する。

**電動ロールプッシャー
モビトラック**

ローラーをトラックなどのタイヤへ押しつけ、直接推力を与えることで重量物を搬送することが可能に。

特大L字型オフセットハンドル
車体との接触を避けるオフセットハンドル。ハンドルの向きも変えられ快適な操縦性を実現。

人間工学に基づく手動操作
ISO11228 に準拠したコンパクトかつ簡単な操作で楽に安全かつ容易に移動可能。スムーズな変速調整と正転・逆転機能が正確なコントロールを実現。

コンパクトな本体
高さは僅か 22.2cm! 商用車向けワンボックスカーなどにも。※ハンドル水平部分高さ

ワンボックスから大型トラックまで楽々搬送!!

movitruck
BATTERY VEHICLE MOVERS

QRコードより実際の動作が視聴できます。

推力(thrust force)*	モーター	バッテリー	最大速度	重量	寸法
25,000kg/55,000lb	24V DC IP44	lithium 24V	4.5m/min	55kg	W649×D849×H1,007mm

*推力は物体を前へ動かそうとする「押し出す力」を表します。⚠ 路面が舗装されていない場所や、凹凸、油、水などが床面にある状態での使用時には本製品の性能が十分に発揮されない場合があります。

特集 大型車整備

重大事故につながる大型車の車輪脱落

車輪脱落は大きな社会問題にも発展する

適切な作業徹底呼び掛け

点検整備推進運動の強化月間

大型車整備の現場では、整備士不足や作業品質の維持、安全管理の徹底など多くの課題への対応が求められている。一方、大型車の事故は重大な被害につながりかねず、日常的な点検整備の実施が安全安心な自動車社会の形成に欠かせない。現在、国土交通省と自動車関係31団体で構成している「自動車点検整備推進協議会」、自動車関係15団体による「大型車の車輪脱落事故防止対策に係る連絡会」が中心となり、9、10月を強化月間とする「自動車点検整備推進運動」が実施されている。大型車については冬用タイヤへの交換時期に車輪の脱落事故が急増する傾向を踏まえ、確実な作業の徹底を呼び掛けることも、車両技術の高度化に対応したOBD(車載式故障診断装置)検査の確実な実施を推進する。

強化月間においては、「点検・整備の必要性の啓発」「OBD点検」とともに「事業用自動車に対する重点的な取り組み」も重点事項の一つと位置付けている。事業用自動車については、ホイールの取り付け状態や燃料装置など重点箇所に関する点検を実施するほか、前点検を行った事業者については、定期点検

①については締め付け後の走行で初期なじみによって締め付け力が低下することから、50km/h以下で走行した後に規定トルクでの増し締めを呼び掛けている。②については、点検ハンマーによる打音点検、ホイールとナットにマーキングすることですれを確認する目視点検などが重要になるとしている。③ではホ

の現状を確認し、定期点検を確実に実施するよう指導する方針を掲げている。

中でも警戒を強めているのが大型車の車輪脱落事故だ。2024年度の事故発生件数は120件。前年度比で2件減少

の実施状況を確認し、定期点検を確実に実施するよう指導する方針を掲げている。

中でも警戒を強めているのが大型車の車輪脱落事故だ。2024年度の事故発生件数は120件。前年度比で2件減少

進む技術 OBDも確実に実施を

したものの、それでも過去5年で平均130件を超える事故が発生し止まりしている状況にある。歩行者にぶつかれば大事故になることは免れない。

そこで呼び掛けているのが、適切な点検整備の実施だ。特に留意する事項として、日常点検時には①ホイールナットの増し締め②緩みの確認。車輪脱着時には③清掃・潤滑剤の塗布を挙げている。

車両火災招く恐れも

不十分な点検整備は車両火災を招く恐れもある。消防庁の調べによると、車両火災は年間約3500件発生しているという。また、国土交通省

の自動車事故・火災に関する統計では、火災に関する情報件数は貨物車が全体の4割弱を占め最も多いことが明らかになっている。火災原因については「点検・整備」が1割強で最多。逆に言えば、適切な点検整備をしていれば、車両火災は免れたとも考えられる。日常点検をはじめとした定期点検の遂行が重要になるのは言うまでもない。

車両火災については、自動車点検整備推進運動でも注意を促している。いつもと比べて加速しづらい、ブレーキが効きづらい、ゴム、樹脂が焼けたり、異音や異臭がするなどの異常を感じたら、速やかに停車することを確認している。

整備を行う必要がある。そのため電子制御装置整備の故障を検査する車検項目「OBD検査」が始まっており、検査対象車も順次増えつつある状況だ。

日本の物流は大型車が支えていると言っても過言ではない。そのため大型車の適切な点検整備の実施は、車両の安全な運行を支えるだけでなく、日本経済を支える物流網、そして社会インフラを守ることに繋がる。

点検整備は車両火災防止にもつながる

物流網を守るために

車両技術の高度化は乗用車のみならず大型車でも進展している。先進運転支援技術の導入は事故の未然防止につながる。ことから、国は先進安全自動車(ASV)の導入支援として、ASV装置の購入に関する費用の一部を補助する取り組みを続けている。

ただ、こうした装置が確実に機能するためには、日常的に適切な点検

大型車整備は ANZEN におまかせください!



ツインパワーリフト [TWPF30N・TWPF30ND]

生産性向上・効率化を実現するハイパワーリフト!

変わりゆく車両に対応するために・・・

効率化を考えた
様々な特徴

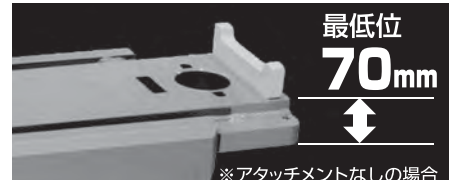
新型アタッチメント

進化したアタッチメントはガタツキが少ない・軽量・ラインナップ豊富で幅広い車両に対応



スライドアームの薄型化

従来と比較してスライドアームを薄型化、最低位70mmで受台のスライドを可能に



最低位
70mm

※アタッチメントなしの場合

電動スライドの自動伸縮 (TWPF30ND) による作業負担の軽減!



デモ動画公開中!



能力
30t
(15+15)
2柱式



新タイプ
ラインナップ!

全移動式ツインパワーリフト、対応可能!



従来のツインパワーリフト(4柱)

固定 可動

全移動式ツインパワーリフト(4柱)

全てのリフトが可動

全てのリフトが単独で移動するため、車両のリフトアップポイントへの位置合わせが簡単(特に独立懸架式の車両等)
※2柱式・4柱式



従来のツインパワーリフト(4柱)

固定 可動

全移動式ツインパワーリフト(4柱)

可動

リフト前方にスペースが取れない工場でも、リフトが全移動することで車両停止位置を変更でき、車両前方にスペースを作り出すことが可能

ANZEN
安全自動車株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-16-25
TEL(03)5441-3415 FAX(03)5441-8848
https://www.anzen.co.jp



最新の業界情報をお届け!! ANZENメルマガ会員募集中

詳しくは

ANZENニュース

検索



アルティマ ツインリフト
アルティマの「キャタピラ式ツインリフト」は、上昇時も最下降時も床面は常にフラットな床面を確保し、作業空間を広く確保し、オイルドレインなどの周辺機器のスムーズな移動が可能。1ポスト当たりの能力は16t、最大揚程は1500mm。



で2ポストでも小型から大型車までの整備に対応する。(2軸間は最小2200mm、2000mm、2000mm)さらに、車両下に降り込み受台を設置・拡張する苦勞をリモコン操作(無線・有線選択可)によって大きく簡便化した「油圧拡張受台」(特許第6656116号・第6902126号)や、リフトアップポイントを示すレーザー光で指示する「クロスレーザーアタッチメント」など、作業効率を向上させる独自の機能を有している。ポストを増やして多柱仕様にすることで、トラクター連結や連結バスまで幅広く作業できるだけでなく、中型、小型車の組み合わせなら



ば2台同時整備も可能になる。また、最大拡張1103mmの標準タイプ、最大拡張1529mmのワイアドタイプをラインアップし、大型鋼光バスの整備までもカバーする。受台の拡張動作を左右独立式とし、車両両側を自在に作業できる油圧拡張機構のほか、GO-T表示機、リフトアップ時の誤操作防止機構、高強度角形ポストの採用、過負荷防止用リリーフバルブなど、万が一を考慮した二重三重の安全装備を標準装備する点も作業者の安全と事業者の安心を支える製品となっている。



安全自動車 ツインパワーリフト

安全自動車は、新たに「全移動式ツインパワーリフト」をラインナップした。小型〜大型車、セミトレーラーに対応する4柱式(2種類)と小型〜大型車に対応する2柱式。

安全自動車

リフトをラインアップした。小型〜大型車、セミトレーラーに対応する4柱式(2種類)と小型〜大型車に対応する2柱式。

イヤサカ
ホークアイXL
イヤサカは、ハンター製の大型車用ホークアイXLシステム「ホークアイXL」を、近日常に発売する予定だ。高精度カメラやXLTターゲットなどを備え、最新の技術を用いた精度の高い測定ができる。同製品は、トラックやバスなどの大型車まで幅広い車種に対応する。クイックローリング補正機能により、1度の操作ですべてのホイールを補正し、初期測定値を取得することが可能。セットアップは簡単で、バッテリーやケーブル、ワイヤレス信号の接続は不要だ。また、専用ペイを必要とせず、モバイルキャビネットを利用して移動できる。さらに、カメラは昇降式のため、床面上のフット上のいすれでもアラウンドが可能。結果を印刷して顧客に提示すること、透明性を示すこともできる。トラックの約70%はアラウンドに生じており、適切な調整を行うことで安全性の向上と運転時の疲労軽減が期待できる。また、入庫時にアラウンドを提案することで、新たな収益の確保につながる。



IYASAKA

HUNTER
Engineering Company

革新的な大型車用アライナーがスピード・多様性・使いやすさをご提供。

移動可能な
キャスター付

トラクター・トレーラー・大型トラック・バスなどに対応。

新発売

大型車用アライメントシステム

HawkEye®XL

軽量XLターゲット

高精度カメラ

超長距離照準が可能なカメラ技術を搭載!

高精度の高解像度カメラは、超長距離の視認性を提供し、1回のローリング補正で測定値をキャプチャし、最大3車軸のアライメント測定値をライブで一度に表示できます。

https://www.iyasaka.co.jp/

販売元 株式会社 **イヤサカ**

本社 〒113-0034 東京都文京区湯島3-26-9 TEL.03-3833-6110 FAX.03-5688-7074

【支店】札幌・仙台・首都圏・関東信越・名古屋・大阪・広島・福岡